

令和7年度 シラバス

科目		単位数		学年			
公共		2		2			
教科 書番号・教科書名				副 教 材			
183第一 公共710・高等学校 公共				フォーラム公共2025			
学習の目標		・ 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
評価の方法		①知識・技能 ・ 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 【定期考査、小テスト】		② 思考・判断・表現 ・ 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れないで構想したことを議論したりしている。 【定期考査、小テスト】		③ 主体的に学習に取り組む態度 ・ よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 【ノート、レポート】	
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法		
					①	②	③
第1学期	4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	I 公共的な空間と人間とのかかわり 1社会に生きる私たち 2個人の尊厳と自主・自律 3多様性と共通性 4キャリア形成と自己実現 II 社会に参画する自立した主体として 1伝統や文化とのかかわり	・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 ・伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。 ・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○		
		第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	I 人間としてのあり方生き方についての探求 1人間と社会のあり方についての見方・考え方 2実社会の事例から考える～環境保護 3実社会の事例から考える～生命倫理 II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 1公共的な空間を形成するための考え方 2よりよく生きる行為者として活動するために	・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 ・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○		○
	5	第3章 公共的な空間における基本的原理	I 自立した主体となることに向けて 1人間の尊厳と平等 2個人の尊重 3民主政治の基本的原理 4法の支配 5自由・権利と責任・義務 II よりよい公共的な空間づくりをめざして 1世界のおもな政治体制 2日本国憲法に生きる基本的原理	・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 ・幸福、正義、公正などに着目して考えている。 ・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○		○
		第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	主題1 法や規範の意義と役割 1私たちの生活と法 2法と基本的人権 3自由・平等と法・規範 4法をよりよく変えていくために 主題2 契約と消費者の権利・責任 1さまざまな契約と法 2消費者の権利と責任 主題3 司法参加の意義 1裁判所と人権保障 主題4 政治参加と公正な世論の形成 1選挙の意義と課題 2政治参加と世論形成 3国会と立法	・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。	○	○	○
第2学期	7	第2章 政治的な主体となる私たち	1裁判所と人権保障 主題4 政治参加と公正な世論の形成 1選挙の意義と課題 2政治参加と世論形成 3国会と立法	・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。	○		
		第3章 経済的な主体となる私たち	4内閣と行政の民主化 5地方自治と住民の福祉 主題5 国際社会と国家主権 1国家と国際法 2国境と領土問題 3国際連合の役割と課題 主題6 日本の安全保障と防衛 1平和主義と安全保障 2核兵器の廃絶と国際平和 主題7 国際社会の変化と日本の役割 1今日の国際社会 2人種・民族問題と地域紛争 3国際社会における日本の役割 主題8 雇用と労働問題 1私たちと経済 2労働者の権利と労働問題	・地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。 ・国際法の意義と役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。	○	○	○
	9	第3章 経済的な主体となる私たち	主題9 社会の変化と職業観 1技術革新の進展と産業構造の変化 2企業活動 3農林水産業の現状とこれから 主題10 市場経済の機能と限界 1市場経済と経済運営 2市場経済のしくみ 3経済発展と環境保全 4経済成長と国民福祉 主題11 金融のはたらき 1金融の意義や役割 主題12 財政の役割と社会保障 1政府の経済的役割と租税の意義 2社会保障と国民福祉 主題13 経済のグローバル化 1国際分業と国際貿易体制 2国際収支と為替相場 3経済のグローバル化と日本 4地域経済統合の動き 5国際社会における貧困や格差 6地球環境問題 7資源・エネルギー問題 8国際社会のこれから	・企業の役割や種類から、株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・農林水産業の現状と今後について、さまざまな情報を基に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 ・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。 ・国際経済問題の解決には、国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。 ・地理など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、政治分野の国際機関の取り組みなども関連させ、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。	○	○	○
		第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える	・課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。	○		○
第3学期	1				○	○	○
					○	○	○